# 広報 いずみざき

**村づくり五原則**

一、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
一、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。
一、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
一、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう
一、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

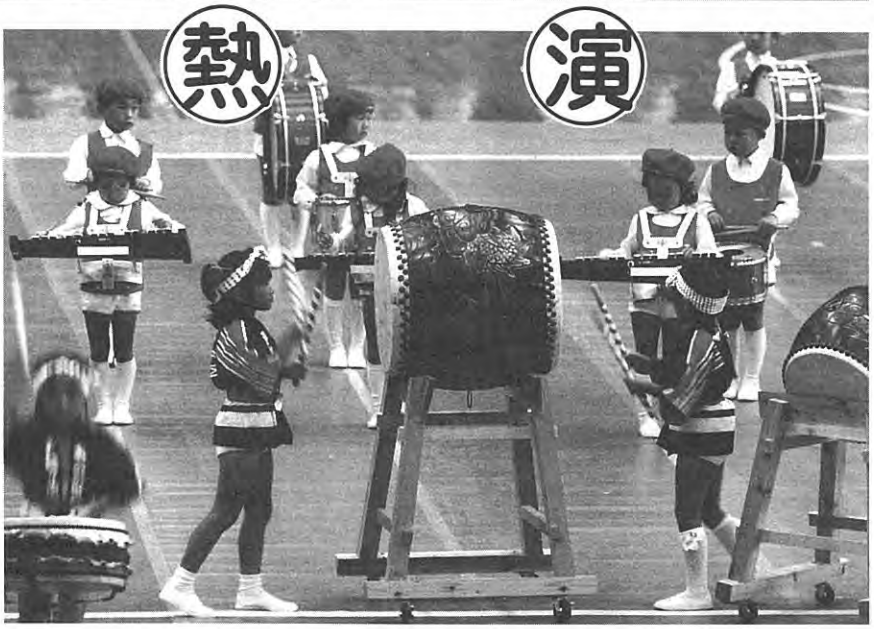
昭和61年12月1日発行　（第232号）　編　集・泉崎村役場総務課　印　刷・野木印刷所

## がんばるぞら・・・

### 泉崎幼稚園児みごとな演技

鼓笛・音体フェスティバル東北大会で

―10月23日・郡山市―




# 12月号

〈村のうごき〉

| | 男 | 女 | 合計 | 世帯数 |
|---|---|---|---|---|
| （今月11月1日現在） | 2,955人（＋2） | 3,046人（＋7） | 6,001人（＋9） | 1,306戸（＋7） |
| （先月10月1日現在） | 2,953人 | 3,039人 | 5,992人 | 1,299戸 |

# 祝　受賞

## 円谷中央公民館長
## 県社会教育功労賞

**去る十一月三日、菊香る文化の日に、中央公民館長円谷泰秋先生が、福島県教育委員会より社会教育功労賞を受賞されました。この栄誉を村民の皆様と共に心からお祝い申しあげたいと思います。**

先生は、昭和四十九年四月に矢吹中学校長を退職されると、直ちに本村のためにと中央公民館に勤務され高砂学級・婦人学級・家庭教育学級・青少年教室などの開設をはじめ、婦人団体ペンクラブ・書道会・菊花愛好会などの各種団体を育成され、数々の実績をあげられました。これは、本県社会教育に裨益するところ極めて大なるものがあり、今回の受賞となりました。

今日、社会教育活動が計画的、組織的に行われるようになったのは、先生の円満な人柄と、深い学識と、多年にわたる献身的な努力によるものであります。

本村社会教育草創の難業を切り開かれた先生に、心から敬意を表すると共に、今後の御健康と御活躍を御祈念申しあげます。

（円谷先生おめでとうございます）

**経　歴**

**学校関係**

昭和八年三月　福島県師範学校卒
小学校・中学校教諭　十三年
小学校・中学校教頭　十年
県教育委員会専門職員　一年
小学校・中学校長　十年
幼稚園長　一年

**社会教育関係**

社会教育主事　六年十月
公民館長　三年六月
各種学級等の開設……家庭教育学級・高砂学級・婦人学級・青少年教室・高齢者教育促進会議・高齢者人材活用事業・烏峠少年教室・ゆずりは学級等。
名種団体の育成……ペンクラブ・菊花愛好会・書道会・婦人団体連絡協議会・泉崎村文化協会等。

# おめでとう日本一

## 優勝
## 全国勤労者空手道選手権大会
### 小松貫一さん(21)　会社員
### ―関和久字富内―

東京・駒沢オリンピック競技場で行なわれた第十回全国勤労者空手道選手権大会（主催・正伝勤労者空手道）で小松貫一さん(二十一)がみごと優勝しました。

小松さんは、三年前に青少年健全育成を目的とした泉崎村空手教室に入門し心身の鍛錬と技術の向上にはげみ今回の栄光を手にしました。師範の小林文典六段(白河市・関辺)と一緒に役場に訪れた小松さんに村長は「わが村から日本一の選手誕生おめでとう。これからもスポーツを通じて青少年の健全育成に努めてほしい」とあいさつしました。

（小林六段、小松さん村長と一緒に…）

# 祝　表彰

去る十月二十一日(火)相馬市民会館において開催された第36回福島県統計大会の席上において、大森健男氏（太田川）が長年に渡り統計調査業務に従事し、統計の発展と統計思想の普及啓発に貢献したことが認められ、県統計協会長（松平勇雄）より表彰を受けました。おめでとうございました。

# 表彰

## 防犯功労者として

去る、十月十四日二本松市で開催された全国防犯運動福島県中央大会の席上防犯活動功労者として、次の方々が表彰されました。

少年補導員として少年補導活動に対する功労者として
関和久　佐川　功氏

去る、十月二十二日二本松市で開催された第二十五回福島県交通安全県民大会の席上、日頃の交通安全村民総ぐるみ運動により交通事故防止に多大の功績があったとして泉崎村交通対策協議会が表彰されました。

これは、村民の皆さんの日頃の交通安全活動に対する協力のたまものであり厚く感謝申し上げます。今後とも交通事故撲滅にご協力下さるようお願いします。

また、永年交通指導員として本村の交通安全の推進に功労のあった大木吉三氏に対して県知事表彰がありました。大木さん永い間誠にご苦労さまでした。

防犯活動に対する協力功労者
瀬知房　円谷喜治氏

# 表彰

## 県交通安全県民大会で泉崎村交通対策協議会

（県民大会で表彰されました）

# みごと入賞……中学校

## 県吹奏楽コンクールで銀賞

中学校の部の県大会は、去る10月23日㈭、須賀川文化センターに於て開催されました。県内各地から選ばれた26校がそれぞれの演奏を披露し、会場には美しいハーモニーが響き渡り、盛んな拍手が送られていました。

大会は朝の9時から始まり、泉崎中学校はプログラム2番であったため、出発が早く、大変だったようです。泉崎中学校の演奏曲目は、フランク・エリクソン作曲の「序曲祝典」で、加藤順子先生の指揮のもとで演奏されました。結果としては銅賞でしたが、生徒の皆さんの顔も生き生きとし、伸び伸びとした演奏で、県大会へ出場したことは、大きな自信につながったようです。

部員数は現在43名で、その半数が一年生であるので、今後に大きく期待したいと思います。

また、大会のたびにバスの運転、楽器運搬など、PTAの皆様や関係者の皆様に多大な御協力を頂き深く感謝しております。

（中学校吹奏楽部のみなさん……美しいハーモニーが聞こえるようです）

# 鼓笛体フェスバル
## 東北大会
## ＝幼稚園＝

（まっかなレオタードが大変好評でした）

去る10月23日、郡山市総合体育館に於て開催された全日本幼稚園鼓笛、音体フェスティバルに、本園幼年消防クラブ鼓笛隊の年長児一一〇名が、元気一杯参加して参りました。

早いもので、今年で、大会出場３回目を数えることになりました。

子ども達は、出場寸前まで、初めて見る大きな会場と、満場の観衆、次には、他園の素晴らしい演技の数々に、驚き一杯の様子でしたが、ミッキーマウスマーチ、よろこびの歌、そして日本太鼓を取り入れた花嫁人形を、次々に落ち着いて演奏し、万雷の拍手を頂くことができました。

保護者の方々は、我が子の素晴らしい演技に、深く感動し、涙したのではないでしょうか。

（力強く、たくましく…）

子ども達は、この貴重な体験を通して、幼児教育の原点とも言うべき、友達と力を合わせる「協調の心」と「がんばる心」を身につけることができたものと思います。

（リーダーさん、キマッテます！）

## 幼年消防白河地方大会
### ＝幼稚園＝

幼児期より、火の取り扱いに対するしつけを養うと共に、一堂に会する中で、地域における防火思想の普及徹底をはかる主旨のもと、去る10月30日、白河県営体育館において、第3回幼年消防白河地方大会が開催されました。

第一部の開会式にひき続き、第二部のちびっこ防火祭りは、各園代表の元気なちびっこ達の手による、くす玉割りで、オープニングとなりました。

（堂々の演技です。）

出場9団体が、それぞれに、趣向を凝らして繰り広げる演技に、場内は、歓声で熱気一杯となり、まさに「防火一色」と化しました。

本園年長児も「歌え、踊れ、響け」で、終始、堂々とした立派な態度と演技で参加して参りました。

三年前より、クラブを結成し、日々クラブ員としての実践活動を行っておりますが、今後も、本クラブがだんだん広がっていく、エネルギーのように「核」となれるように努力して参りたいと思います。

**無事故・無火災みんなの願い**

# 火の守りは万全です。

昭和六十一年度消防団秋季検閲は十月二十六日に中学校々庭において実施されました。検閲は団員のきびきびとした規律訓練、ポンプ操法、分列行進等が行なわれました。村長及び団長から火災シーズンに向って一層火の守りに万全を期する旨の訓示があり、団員は予防消防に気を引き締めていました。

（検閲）

なお、秋季検閲における表彰者は次のとおりです。

◎退職幹部感謝状
溝井　邦男　久保木義之
丸山　実光　北畠　龍也
中野目喜一　本柳　勝利
坂本　昌行　三本木夏夫
菊地　典雄　鈴木　正則
西槇　芳智　田崎　政志
鈴木　安博

◎永年勤続者表彰
松田　保広　箭内　憲勝
中野目正治　有賀　克彦
阿部　信一　菊地　宗司
穂積　一夫

◎ポンプ操法出場感謝状
木野内光男　岡崎　満
緑川　広勝　穂積　正徳
井上　一成　鈴木　義弘
小林　盛一　塩田　浩
小林　一一　本柳　広美
小林　敏之

◎退職婦人消防隊正副隊長
星　ひさ子　野中　裕子

表彰を受けた皆さんおめでとうございました。

# "心のスキ"が狙われます

## ▶年末の犯罪に遭わないために◀

「今年中にこれだけは済ませておきたい」
「△△の料金は今年中に支払わなければ…」
年の瀬は、これもしなければ、あれもしなければと、なにかとあわただしくなります。忙しさでつい家のカギを掛け忘れたり、大切なものを置き忘れるなど、ちょっとした〝心のスキ〟ができやすいこの時期は、空き巣やスリにとって絶好の稼ぎ時です。
ドロボーは、あなたのちょっとした気のゆるみを狙っています。年末に空き巣やスリなどの被害に遭わないために、次のことに注意してください。

①外出するときは、たとえわずかな時間でもカギを掛ける。また、隣近所に一声かけて留守を頼むことも忘れずに。
②多額の現金は、なるべく手元に置かないように。通帳と印鑑は別々に保管を。
③混雑する場所へ行くときは、必要以上の現金を持ち歩かない。
④大金を持ち歩くときは、複数で行動するなど細心の注意を払う。
⑤車や自転車を駐車するときは、必ずカギを掛けるように。車の中には現金など大切なものを置かない。

## お詫と訂正

十一月号広報いずみざき「村税・使用料等滞納にメス」の記事で水道使用料累積滞納額が間違っておりましたので次のとおり訂正しお詫びいたします。

水道使用料
累積滞納額

（誤）3,133,452円

↓

（正）　636,631円

## 納税

○県村民税（第四期）……12月25日までに
○国民健康保険税（第四期）…12月25日までに

# 好評

## 国際交流推進研究公開

### ＝泉崎中＝

去る十月三十一日は秋晴れの好天に恵まれ、菊の花の香りの中で泉崎中学校の研究公開「国際性豊かな人間の育成をめざして」のテーマで発表が行われました。

研究公開では、各教科の公開授業、分科会、ＮＩＳ（東京：西町インターナショナルスクール）とのディスカッション、国際交流体験発表、日本の民謡、郷土芸能「峠節」の発表が行われました。当日は、北海道など県外、県内から百四十人の先生方を迎え、ＰＴＡの参加を加えると二百人以上の方々の前で、二年間の研究を発表し好評を得たことは、村民のみなさんのご協力、ご支援があったからだと感謝しております。

（公開授業）

研究の成果として、次のようなことが上げられます。

○　他国の文化や生活の理解。
○　自国の文化の理解。
○　他国の文化への興味。
○　英語に興味をもつ。

最後に、今後の課題として残ったものは、次のことです。

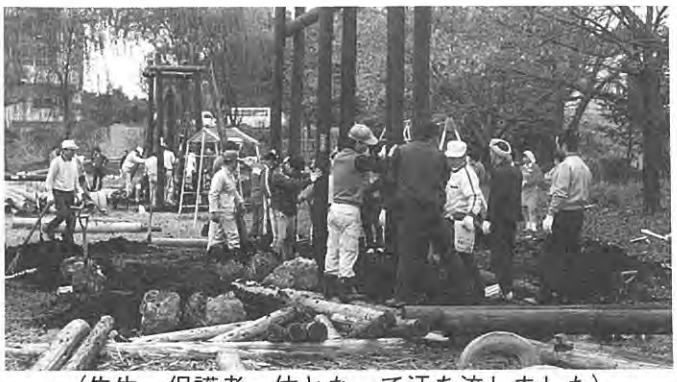
○　自国の文化に誇をもつ。
○　語学力の充実。
○　基本的行動様式の修得。
○　広い視野にたって考えられる人間の育成。

# 待望

## アスレチック建設

### ＝泉崎二小＝

以前からの計画にあったアスレチックの建設が着実にすすめられています。去る七月に建設委員会を設立・設計・実施・予算案が九月三十日のＰＴＡ臨時総会で承認され、活動を開始しました。岡部建設委員長、駒橋総務部長、円谷経理部長佐川資材部長、鈴石設計施行部長を中心にそれぞれの係が作業をすすめ十月十八日には地鎮祭を行って本格的な作業に入っています。組立て作業は、会員の方々の労力奉仕によりすすめられ、各施設の骨組みがほぼでき上がり、ロープ、ネットのとりつけ作業が残されただけとなりました。十二月上旬完成をめざして、会員全員がんばっています。


（先生、保護者一体となって汗を流しました）

# おじいちゃんと孫の「わら細工」

＝泉崎二小＝

古くから受けつがれている伝統的な行事に直接ふれ理解を深めさせることを目的として、二年前から「わら細工の日」を行事として設け、去る十一月十一日に実施されました。熊田万珪さん外六名の老人会の方々が指導助言者として出席、菊地欽一さんの「わらと私たちの生活とのかかわり」について、体験を通した話を聞いた後、四年生以上が・・・なわない作業に挑みました。多勢の孫たちを相手にしたほほえましく和やかな奮囲気の中で、全員が作品をつくり上げていました。次年度は、むじな打ちを作り上げ、自分の作品で伝統行事に参加したいとのことでした。

（おじいちゃん、じょうずだネ……）

## 家庭教育ワンポイントアドバイス

### 豊かな感情を

誰しも好感を持てることに出合うと、喜んでそれに応じるが、嫌なことを無理じいされると拒絶する心がはたらく。これは感情のあらわれで、感情は、考えることと、行動することの両面をさい配している。

読む、書く、計算することなどは知識として身につけるが、感情は態度から学んでいる。美しい花が咲いたとき、「まあきれい!!」と感動し、苦しみを克服して物事を成し遂げたとき、「よくやった!!」と賞讃し、事故にあった犬や猫を見たとき、「まあ、かわいそうに」、「……」と、母親が心から語りかけや、働きかけをすると、子供もそのときの気持ちを受けて、母親と同じような感情をいだくようになる。

もし、家庭が無表情・無感動という異常な環境であると、子供は喜びを喜びとして感じることができず、悲しみを悲しみとして味わうこともできず、罪を罪として恐れないような子供となってしまうのではないか。

これらのことを考えると、豊かな感情教育の中心は家庭にあり、親自身が正常で豊かな感情の持ち主であることが望まれ、親でなければできない教育の本命のように思われる。

社会教育指導員　田崎富雄

## キーワード　何が彼らをそうさせるか

問い直される親子関係

# いじめの後遺症

「いじめ」は、程度の差こそあれ、昔もありました。今に始まったことではありません。お父さん、お母さん、子供のころのことを思い出してみてください。思い当たることがたくさんあるはずです。「今のようにひどくはなかったものの、いじめは昔もあった」というのが、大方の意見です。

**■後々まで影響するいじめの〝破壊力〟**

では昔と今とでは、いじめの何がどう違うのか……現代のいじめの特徴としてよく言われるのは「陰湿」ということです。カラッとしていない。後に残らないどころか、いったん、いじめられっ子のレッテルをはられると、その後ずっといじめられる。だれもかばったり仲裁してくれない。周囲の見て見ぬふりの中、一方的ないじめが続く——。歯止めのきかなくなったいじめは、いじめられっ子の心に大きな傷を残します。小・中学生のころにいじめられた子が、大人になってもその後遺症に悩まされているケースが沢山あります。一度きりしかない人生そのものをも左右しかねないほど、子供時代のいじめは〝破壊力〟をもっているのです。

**■もっと大人が知恵を出しいじめをなくす**

限度のないいじめは、いじめられっ子を時には非行に向かわせたり、発散できないまま内にこもって、最悪の場合は自殺にいたることもあります。

いじめをなくすために大人がもっともっと知恵を出し合い、健康的な子供の世界を取り戻したいものです。

## ハトムギ

# 汎用コンバイン 生産増期待

本村は水田利用再編対策事業の一環としてハトムギの導入をはかってきましたが年々栽培面積も伸び、現在二〇ヘクタールで県下一のハトムギ生産地となりました。しかし栽培については特に収穫調整には適当な機械がなく大変苦労をしてきました。これからはこのコンバインを利用することによって収穫調整は大巾に省力化されることになりますのでハトムギの栽培面積を増やすと同時に生産の増大をはかっていきたいと思います。

この機械は全国でも三台目とゆうハトムギ、稲、麦、大豆まで刈り取れる汎用コンバインで東京の農産業振呉奨励会が白河農協に貸与したもので、農業機械研究所が開発しヤンマー農機が製造したＣＡ６００Ａ型で（価格は九百万円）ディーゼル六〇馬力、ゴムキャタビラでぬかる水田も入ることが出来ます。

十月二十一日に堂の下の菊地力さんの圃場で実際に刈り取られましたが一〇アールわずか、一五～二〇分と新鋭機械の威力を十分発揮されました。

機械はその外ハトムギ専用のコンバインもありますので、大いに利用して下さい。

機械は、白河農協関平支所で管理しています。

# 調査研修会

## わが村農業の未来を考える会

八月に発生した「泉崎村の農業農村の未来を考える会」では第一回事業として調査研修会を十月二十八日に行いました。

役場前を八時三十分に出発して県の農業試験場に。午前中は試験場長の川島先生から新しい農業技術の取り組みについて特にバイオテクノロジ（生物工学）を活用した研究を中心に説明を聞きその後実際に研究室に入って、植物の生長ホルモンなどを活用する新しい方法で品質の良いリンドウの花を大量に生産できる画期的な研究。ヒメサユリ（オトメユリ）の増殖技術分野でも大量生産に結びつく研究等担当者から説明を受け農業の分野でも画期的な技術の進歩におどろきを感じました。

午後は郡山市日和田町の松谷喜一さんの「トマトの水耕栽培」を見学しました。この栽培方法をはじめて見る人が多くこれまた驚きでした。松谷さんはこの施設を取り入れたのが五年前なそうです。施設の中には果型の揃ったトマトが見事に着果し二段目の収穫に入っていました。

収穫量は一〇アール一〇トンは穫れると言うことでした。この栽培法の特徴は土を使わないので連作障害の心配はありません。したがって一年中何年でもトマト栽培が出来ます。また土壌病害の発生がないので管理が楽です。今後はこうした栽培方法が普及されるものと思います。今日の一日の研修は実りの多い研修になったようです。

# 県下農業委員大会

十一月八日、福島市県文化センターにおいて、県下農業委員大会が開催されました。県内の農業委員、来賓の方々二千数名の参集された大会議室において、議案第一号、二十一世紀を展望した基本農政の確立について、提案者西白河地方農業委員会連合会他七連合会及びいわき市農業委員会の代表者として議案の説明を行い大きな拍手をえた。

（議案説明…村農業委員会長）

がんばる農家に、無利子、無担保。

# 明日の飛躍に農業改良資金

**農業改良資金制度は、農業に意欲的に取り組む方に、無利子、無担保で資金を貸し付け、経営改善に役立ててもらおうというものです。**

**いわゆる足腰の強い農業経営を行うためには、農家が自主性を発揮して、新しい技術の導入や需要に応じた作目の選定、経営規模の拡大などを積極的に進める必要があります。そこで、農業改良資金制度は、農家の方々がますます利用しやすい仕組みとなるように貸付けの対象を広げ、一層内容を豊富にしたり貸付額を増やすなど、制度の大幅な改正が行われました。**

**それでは、どのような方が、どのようなときに活用できるか、農業改良資金制度のあらましを見てみましょう。**

## 対象　新しい技術や生産方法を導入する方

新しい農業技術や生産方式を地域で初めて導入するような、いわば先駆的でモデル的な事業を行う農業者、または農業者の組織する団体が、貸付けの対象となります。どのような事業が貸付け対象となるかは、都道府県の貸付け規則などで定められています。

また、資金を借り入れた方は、農業改良普及員や農協の営農指導員などから、技術指導や経営指導が受けられます。

## 資金　事業の内容に合わせた四種類

皆さんが行おうとする事業の内容に合わせて、貸付資金の種類は大きく次の四つに分かれています。

**1　生産方式改善資金**

農業経営の改善を促進するために必要な技術の導入、または合理的な生産方式を導入する際に借りられる資金です。事業の内容によって、資金は次の十二種類に分かれています。

①省エネルギー技術導入資金　②生産環境改善資金　③農業者技術開発資金　④生産組織育成資金　⑤経営転換等推進資金　⑥畑作技術合理化資金　⑦稲作省力生産安定資金　⑧果樹栽培合理化資金　⑨野菜生産高度化資金　⑩畜産振興資金　⑪養蚕技術総合改善資金　⑫地域農業技術導入資金

（都道府県によって、それぞれの内容が定められている）

**2　経営規模拡大資金**

農業経営の規模拡大を図るため、農用地（借地）の利用権を取得する際に借りられる資金（小作料を一括して前払いする経費）です。

**3　農家生活改善資金**

農家が共同して身近な生活環境を改善するなどのための資金です。資金の種類は、地域で加工実習や農家の汚水処理をするなどの施設をつくる場合の「生活環境改善資金」と、高齢者が共同で農産加工や特産物づくりなどを行う場合の「高齢者活動資金」があります。

**4　農業後継者育成資金**

農業の担い手となる農村の青少年が、農業の技術や経営方式を実地に習得する際に借りられる資金です。事業の目的に応じて、次の三つの種類に分かれています。

①技術共同習得資金　②研修教育資金　③部門経営開始資金

## 手続き　農協か普及所に申請書を提出

農業改良資金の借入れ手続きはきわめて簡単です。最寄りの農協または普及所などに相談していただき、「農業改良資金貸付申請書」に必要事項を記入のうえ提出してください。なお、借入れに当たっては連帯保証人が必要です。借入れが決定すれば、資金は最寄りの農協から支払われます。

また、この資金は無利子ですから、返済は借りた元金だけを定められた返済期間内に、均等年賦払いで返せばよいことになっています。

貸付金額は資金の種類によって異なりますので、詳しくはお近くの農協、または普及所などにお尋ねください。

（豊かな大地で力ある農業を…）

話題　話題　話題

躍進

# 村人口六千人突破

昨年十月の国勢調査で五千八百三十四人だった本村人口は、ちょうど一年経った今年十月十一日についに六千人を突破しました。

旧川崎村と旧関平村合併前の昭和二十五年の国勢調査結果六千九百五十七人をピークとして年々減少を続けていた本村人口は、昭和四十年から六千人を割込んでいました。この事態を重くみた村当局は過疎化に歯どめをかけるべくその対策にとりくんできました。昭和五十年頃からインターチェンジや新幹線等の高速交通機関の整備を背景に企業の進出が相次ぎ、住宅の整備、ニュータウンの造成等が進められ村に活気が甦り、昨年の国勢調査では四・六％という県内で第九位の伸率を示しました。

二十一年ぶりに本村六千人めの村民となられたのは先月十一日に鏡石より家族三人で転入して来た久保木芳明さん(太田川)でした。久保木さんには村より記念品が贈られました。

(おめでとう！久保木さん)

環境を整備し、医療福祉面でのきめこまかなサービス、質の高い充実した教育等、住んでよかった泉崎を目ざすなか、今後さらに人口増加がはかられるものと推定されます。

好評

# ニュータウン現地販売会

同ニュータウンは総事業費十七億円を投じ、五十九年十月に完工、現在三十二世帯が住み、泉崎村に〝新しい街〟が誕生いたしました。

去る十一月一日から三日まで、ニュータウン内において現地販売会を行いました。結果として八区画の分譲申込みがありました。

現地販売会には、各方面からの来場者がありましたが、なかには十月二十八日に全国放映されたズームイン朝を見て、東京から来た方もありました。今回初めて来村し、本村のすばらしさを見て、三日後には分譲申込みする方もあり、現地を見て確かめて、分譲申込みをされた方が多くおりました。

プレゼント

去る十一月八日、ケアハウス泉崎に佐藤儀一さん(関和久、如信沢)から菊の花がプレゼントされました。

秋を彩どる美しい菊の花に老人の方々は大よろこびでした。

話題　話題

# 視察団来村相次ぐ

## 白河市議会議員来村

### 視察研修者来訪

生活環境の基盤整備として、昭和五十八年より実施している農業集落排水事業（下水道）については、全国でもトップということで各県、各市町村より先進地視察ということで来村、本村の村づくり、事業の取り組みなど各自治体の関心のあるところであり各団体の視察研修が、県内外より多くの方々の来訪をうけています。

〝二十一世紀へ向けて活気ある白河市をつくろう〟と白河市会議員同志会の皆さんが去る十一月四日、視察研修のため来村しました。

村長から村の行財政全般の概要について説明をうけた後、ニュータウン、カントリーパーク、など八カ所を視察しました。

（熱気あふれる研修会）

（村長、概要説明）

## ありがとう

去る十一月二十五日、峠節保存会会長菊地隆氏より本村の社会福祉事業へ役立ててほしいと社会福祉協議会へ二千円の寄附をいただきました。有難うございました。

## パメラさんの英会話講座

### テレビで紹介されました

**中央テレビ〝ズームイン朝〟の視聴率をアップ＝英会話講座**

去る十月二十八日㈫、福島中央テレビ『ズームイン朝』でパメラ先生の英会話講座が紹介されました。早朝六時半、中継用の機材が運びこまれ、出演者は放映一時間前に集合、数回のリハーサルを終えてスタンバイ。本番、パメラ先生のさわやかな笑顔に誘われて軽やかな英会話のレッスン情景が放映されました。わずか二分三十秒のひとこまでしたが、村民を受講生にした英会話のレッスンは大変珍しくまさに文化の村泉崎の名を全国に広めることができました。

出演者のみなさん、本当にごくろうさまでした。

（ズームイン朝：パメラさんの英会話講座放映）

## 伝達式

### 日赤特別社員証（銀色）

去る十一月十七日役場会議室において、日本赤十字社有功章社員銀色特別社員証の伝達式が行なわれました。

伝達式では、日赤泉崎分区長である村長があいさつのなかで、日頃から赤十字に理解と関心を寄せられ、福祉増進、社会福祉援護事業など奉仕活動を進めるための資金面の支援として今回特別（銀色）社員になられた方々一三名へ感謝の言葉を述べました。

続いて、特別社員証の伝達が行なわれました。

受賞者は次のとおりです。

《銀色特別社員》

青柳　勉・井上邦孝・小越俊雄・鈴木勝己・田崎武水・中野目辰善・橋本三男・星雅輝・三村文男・本柳傳雄・本柳タイ・箭内　誠・行武太一

# 86文化祭華やかに…

**十一月二日三日に行われた村民文化祭総合展示会は環境改善センターと老人センターで華やかに開かれ、農産物即売会やリサイクルバザーも多くの人で賑わいました。**

各展示会の特別入賞者は次の通りです。

**学童作品展の図画の部**

**村長賞**　㈫たきまりこ、㈫倉島悠弥、㈫鈴木盛孝、㈭鈴木　誠

**教育長賞**　㈫ごとうたけひろ、㈫ほしかず子、㈫小松富有美、㈭穂積智光

**公民館長賞**　㈫のざきゆうじ　㈫田崎裕子、㈫田崎由香、㈭菊地英一

**書写書道の部**

**村長賞**　㈫須藤千春、㈫田崎睦紀、㈭田崎貴子、㈰北村幸子

**教育長賞**　㈫野崎浩一、㈫小針利子、㈭鈴木絵梨子、㈰小針利子

**公民館長賞**　㈫深谷康弘、㈫木野内秀樹、㈭中野目千春、㈰鈴木陽子

**菊花展の部**

**村長賞**　松山トミ、**農政事務所長賞**　田崎　綾、**村議会議長賞**　緑川キク、**教育長賞**　本柳正次、**公民館長賞**　田崎久良夫、**文化協会長賞**　緑河美枝子、**商工会長賞**　白岩今朝吉、**菊花愛好会長賞**　緑川信勝

なお菊花展の出品点数は一七三点、内三十五点は第二小学校六年生の作品で受賞者は次の通り

**金賞**　緑河正顕、佐川淳子、鈴木愛子、駒橋秀行

**銀賞**　岡部　誠、小林智一、大野友幸、木野内理、北住達也、田崎睦紀

**銅賞**　岡部修久、緑川清一、三河黒松　田崎　昭、**教育長賞**　万作　有賀国喜、**文化協会長賞**　サツキ　緑河正喜、**公民館長賞**　サツキ小盆栽　松本兼夫　山内常蔵、**議長賞**　おさご袋　緑川キク、**教育長賞**　ちぎり紙絵　深沢トリ、**公民館長賞**　草みの　佐藤儀一、**村考連会長賞**　文化刺しゅう　白岩美夫

なお受賞者の木野内さんは八十五才、小林さんは八十九才、佐藤翁は九十才の高齢でその労作には頭が下がります。

この他婦人達の作品で、生花展、手芸展も開かれましたが審査を行わないで観覧に供しました。

なお盆栽展への出品者は十九名、陳列された盆栽は七十点でした。

**老人作品展の部**

特別賞の栄誉を得た人は次の通り

**日赤県支部長賞**　書　木野内良爾、**日赤西白河地区長賞**　書　井上美江、**県老連会長賞**　手芸　北住トシ子、**郡老連会長賞**　毛糸編み　小林タミ、**泉崎村長賞**　書　佐川美雪、北沢智恵、田崎真理子、岡部紀美雄、田崎真寿美

**盆栽展の部**

**村長賞**　アケビ　辺見伍郎、**郡議長会長賞**　ベニシタン　瀬戸正男、**議会議長賞**

よく売れた農産物即売会

盛況だった商工会婦人部食堂

福祉リサイクルバザーは婦人団体連絡協議会の主催で本年も開かれ大盛況で売上げ総額一一〇、六一一円でその一部は歳末助けあいに寄付し、残品は白河学園へ贈ることになりました。

## 文化祭「川柳クイズ」の正解者　五名当選

例年文化祭展示会場の川柳クイズは評判が高いが、今年は一二三人の応募者がありました。五問の正解者は次の五名で、それぞれに佐藤青柳子氏の画いた色紙が賞として贈られました。

木村美伎子（泉崎字雷）
老眼鏡さがせば妻がかけている

緑川キク（関和久字上町）
クラス会長生き約しさようなら

庄山光儀（北平山字高柳）
野菜売る老婆に冬の無表情

佐藤貴幸（泉崎字雷）
晩鐘の姿で農夫美しい

緑川直美（関和久字木ノ内）
数え唄出世の道は十ですみ

# 古代文化の遺跡

## 上町遺跡発掘調査（第五次）報告

# 文化財はみんなの財産

福島県教育庁文化課主催事業の関和久上町遺跡調査（第五次）は、十月十三日より十一月十五日までの約一ヶ月間にわたって実施されました。今回の調査には、宮城県多賀城跡調査研究所・奈良国立文化財研究所等の専門の研究員の応援を受けて実施されました。

その結果、上町遺跡は、奈良・平安時代初期の郡家・あるいは、郡方院？の跡と考えられるが、関和久遺跡とのはっきりした関連性は、今回の調査でも明らかにはされませんでした。

今後、更に五年間の継続調査が、文化庁によって認められる予定です。

なお、十一月十五日の現地説明会には、報道機関、一般の方や約百二〇名の方が出席し、熱心に説明を受けていました。

又、地主の木野内覚夫氏さらにその調査に協力下さいました発掘調査員の方々に、厚くお礼申し上げます。

（現地説明会には120名が参加）

# 健康マラソン大会

村民一人々が日常生活の中に走ることを積極的に推進するとともに村民の健康と体力作りを目的とした「健康マラソン大会」は十一月二日陸上競技場で開催され盛会でした。小学一年生から壮年56才まで一五〇名の参加があり各種目一キロから五キロまでのキヨリで行なわれました。なお参加者には参加賞、完走証、入賞には金、銀、銅のメダルが授与されました。

入賞名は、次のとおりです。

**1キロ**(男)一位木野内秀樹　二位小室賢一　三位本柳新吾
(女)一位緑川郊美　二位松田美保　三位中畑真由美

**2キロ**(男)一位小林正浩　二位武田正敏　三位渡辺大
(女)一位橋間美枝　二位室祥子　三位本柳里美

**3キロ**(男)一位石井勇二　二位青柳和久　三位鈴木英智
(女)一位有賀則子　二位高崎優子　三位大下佳子

**5キロ**(男)一位木村宏之　二位滝将行　三位北沢隆

**3キロ中学生**(女)一位石井梢　二位橋本千春　三位野崎かおり

**5キロ一般**(男)一位大野金男　二位　木野内竹彦　三位中野目正明

**2キロ一般**(女)一位菊地すい子　二位鈴木初代

**3キロ壮年**(男)野崎重治

（走ること…健康の基です。）

## スポーツで健康づくり

## カレンダー

翌年のカレンダーが手に入ると、連休はどんな具合かなと、めくって見るのが楽しみなものです。以前は〝日食〟と称して、祝日と日曜日が重なると、がっかりするサラリーマンが多かったのですが、今は振り替え休日のおかげでこんなことはなくなりました。

カレンダーが何部くらい出回っているかというと、およそ三億部と推定されています。一人当たり三部近いのですから大変な数です。

種類は、日めくり、月表（毎月または二か月ごとに一枚になったもの）、年表とあります。日めくりは最近はあまり見かけませんが、根強いファンもいて、二千五百万部くらいは出ているそうです。

月表の写真は風景が圧倒的に多く、タレントなどは、一般にはあまり使われません。

最近のカレンダーには友引、仏滅などの六曜は入っていないものが多いのですが、大安だけが入っているものもあります。カレンダーのアンケートをとったところ、大安を入れてほしいと言う若い女性が多かったのだそうです。

# 水を大切に 水道管の冬じたく

## 夜の冷え込みにご注意

冷え込みが厳しくなって、気温がマイナス４℃以下になりますと、水道の水が凍ったり、水道管やメーターが破れつしたりします。とくに多いのは次のようなところです。

○　水道管がむき出しになっているところ
○　水道管やメーターが北側にあるところ
○　風あたりの強いところにある水道管やメーター

このようなところにある水道管やメーターは、早めに冬じたくをしましょう。

## 水道の凍結を防ぐには

○　水道管やじゃ口の部分に保温材を取り付けてください。

保温材には、取り付けが簡単な市販品もありますが手近なものとして古毛布、布、ワラなどがあります。これらを巻き付け保温材がぬれないようにビニールテープなどでしっかりとおさえてください。

○　水道管の水ぬきを
①遠隔操作型の水ぬきせんのレバー（またはハンドル）を引き、じゃ口をあけて空気をすわせると立ち上り管の水がぬけます。
②メーターボックス内に取り付けてある不凍水ぬきせんを右に廻して水を止め、じゃ口をあけて空気をすわせると立ち上り管の水がぬけます。
○　メーターボックス内を保温する。

ぬれていない保温材（発泡スチロールなど）をビニール袋に入れ、検針できるようにメーターの回りを保温してください。

## 水道管が破れつしたときは

メーターボックス内の不凍水ぬきせん（止水せんも併用）をしめて水を止め、破れつした部分に布かテープをしっかり巻きつけ、応急手当をしてから、水道工事公認業者に修理を依頼してください。

## 水道管が凍って水が出ないときは

ぬれタオルなどを巻き付け、熱湯でゆっくり暖めてください。直接熱湯をかけると水道管やじゃ口が破れつすることがありますので注意しましょう。

**◎年末年始の水道の故障と修理は、**左記の修理当番業者日程表によりお申し込みください。

## 修理当番業者日程表

| | | |
|---|---|---|
| 12/26 | 久保設備工業 | (53)2267 |
| 12/27 | 久保木電気工事店 | (53)2414 |
| 12/28 | 白石電器店 | (53)2529 |
| 12/29 | 鈴木設備工業 | (53)2301 |
| 12/30 | 木戸設備 | (53)3268 |
| 12/31 | 大野米肥店 | (53)2231 |
| 1/1 | 久保設備工業 | (53)2267 |
| 1/2 | 久保木電気工事店 | (53)2414 |
| 1/3 | 白石電器店 | (53)2529 |
| 1/4 | 鈴木設備工業 | (53)2301 |
| 1/5 | 木戸設備 | (53)3268 |
| 1/6 | 大野米肥店 | (53)2231 |

# 国民年金の保険料は、性別、年齢、所得に関係なく一律です。

国民年金の保険料は、性別や年齢、また、所得などに関係なく、一律に**7,100円**（昭和61年度価格）です。

そして、毎年、物価スライドがあれば、その率だけ引き上げられます。

また、どうしても保険料を納めることができないときは、保険料納付の免除申請をすれば、免除されることがあります。

**付加保険料**

昭和61年４月１日以後、付加保険料を納めることができる人は、第１号被保険者（自営業などの人と任意加入の人）だけです。厚生年金の被保険者本人とその配偶者は納められません。ただし、昭和61年４月１日以前に納めていた人には、過去に納めた月数分は付加年金が加算されます。

**厚生年金や共済年金の被保険者本人とその配偶者の保険料**

保険料は別個に負担する必要はありません。これは、厚生年金や共済年金の被保険者が支払った保険料の中から、本人と配偶者分について、国民年金にまとめて拠出されるからです。

また、本人が被保険者でなくなった場合、配偶者が60歳未満であれば、国民年金の保険料を納めることが必要です。

# 随想にかえて…

## ある手紙への返事

この春一通の手紙が私に届いた。昭和三十六年に私が二十九歳ではじめて村長に当選したとき生まれたご令息様に、新聞の記事を見て私の名前をつけられたという方からの手紙であった。

この手紙に差し上げた私の返事を通して、我が人生観の一端を申し上げ寄稿の責をふさぎたいと思う。

謹啓　若草萌えて爛漫を競うよき花月と相成り皆様にはご健勝に亘らせられ大慶に存じ上げます。

過日は私に寄せられた過分なる思いのお手紙に接し恐縮に思っております。

存じ上げない方から私の青年時代より久しくご期待を戴いておりました由、お話しを承りますだけでも平身低頭の限りであります。

私ごとき至らなき者にこのようなお心を寄せておられる方がおいでになられるとは感激これに過ぎるものはありません。身に余る光栄に思っております。

平凡な私ですが、人を思う心とそのために捧げる精力と努力は若い頃と寸分の衰えを見せず、むしろ実年といわれるこの年になって益々燃えさかるものを自分では感じております。

私は常日頃、人のために尽くすことは人の努めとしなければならない人の道である、と信じて半生を生き抜いてまいりました。

私は早くから青年運動に身を挺し、村の青年会長、郡青連会長、県青連産業部長をはじめ村議会議員、教育委員、公民館長、農業委員会長、農業共済組合長など種々の公職に就任させていただきました。

この間に、昭和三十六年からは青年村長として地方の民生の安定と経済の発展を願って、意欲をさかんにし農村建設に打ちこんできたつもりであります。

その政治的には曲折はありましたが、ただいまでは四期目の村長をやっております。

また、地方町村会の会長をも仰せつかり、わが村の建設に闘志を燃やす反面、地域づくりの中核として働かせていただいております。

多忙な毎日ではありますが、私は一貫して自分に忠実に生きることが人として一番尊い生きかたであることを信じて生きております。

〝人は巧みにして偽りあるよりは拙うして誠あるに如かず。〟ということが私を支える人生の原理であります。

公職にあって、多くの方々に奉仕する立場にあってみますと、このような生き方の中にこそ他の方々の限りない支援と励ましをたえず手にすることができるものだと思うようになりました。

ご令息様が成長されこのたびご結婚されるとの由、心からお慶びを申し上げます。

至らない私の名前を襲っていた方がご立派になられ、やがて奥様ともどもご立派な、そして心豊かな人生とご家庭を築いていただけますことを心からお願い申し上げたいと思います。

〝人に博く心を貢することは之れすなわち人の誠を受けるものなり。〟

博之君が新しい人生の糧にしてこのような生き方を貫いていただけたら、私の他にもう一人の若い私がありますことと心強く思う次第であります。

地方に生きる人々が心豊かである限り地域が豊かに発展することはまた、まちがいのない原理であります。

私は一自治体の長として、地域をつくることはそこに住む人々の心をつくることだと信じております。博之君もどうかこうした心を持って住民の模範となる生き方を綴っていただきたいと思います。

ご両親様、そして博之君ご夫妻のご多幸と佐藤家のご繁栄が悠久にありますことをお祈りし、お祝いの言上かたがたご返事にかえさせていただきます。

敬具

泉崎村長

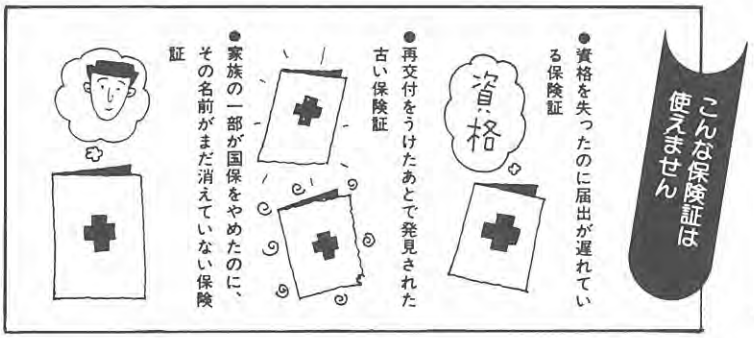
海上博之

日本加除出版㈱が全国の市町村向けに発行している「住基時報」（11月号）〝首長登壇〟に海上村長の随筆が掲載されました。毎月の随想にかえてその内容を掲載いたします。

# 国保の窓

## 保険証

保険証（正しくは国民健康保険被保険者証）は国保の被保険者であるという証明書であると同時に、お医者さんにかかるときの受診券の役割を果たすものです。国保に加入すると一世帯に一枚ずつ交付されます。取り扱いは大切にしましょう。




## 保険証の取り扱い

### 1　内容を確かめておく

交付されたら記載事項に誤りがないかどうかを確かめておくこと。

### 2　紛失したり破ったとき

紛失したり破って使えなくなったときは、すぐ国保の係へ届け出て再交付をうけてください。その場合、元の保険証が残っているときはそれを返してください。

### 3　必ず手元に保管する

お医者さんの診療がすんだら、必ず手元に保管しましょう。預け放しは事故の元になります。

### 4　資格がなくなったら返す

他市町村へ転出したり職場の健康保険に入ったときは必ず届出をし、保険証を返してください。

### 5　書き替え

有効期間が過ぎた保険証は使えません。

### 6　もう１枚の保険証

修学のため、あるいは出稼ぎや長期旅行などのため必要なときは、もう一枚の保険証を発行します。

### 7　被保険者に異動があったとき

被保険者に異動のあったとき、自分で勝手に書き直すとその保険証は無効になります。
必ず国保の窓口で訂正してもらってください。

こんな予兆に要注意

# ボケ・寝たきりが食事で防げた

## 〝老人食常識〟には間違いがいっぱい

東京都老人総合研究所研究室長　松崎俊久

**まえがき**

数十年前までは、世界の工業国の中で最も短命であった日本が、現在は男性七十四・五歳、女性八十・一歳と、世界で最高の平坪寿命を達成した。

「動物性食品が増加しているから危険だ、心臓病が増えるだろう」という警告や、「公害のために寿命は縮むだろう」という予言がふりまかれてきたなかで、日本人の寿命はたくましく延びつづけてきたのだ。こうした警告や予言がなんら科学性のない見解であることが実証されたわけである。

あらゆる年齢階層別に見ても、日本人は死亡率も有病率も低く、世界で最も健康な集団なのである。ひと頃騒がれた昭和一けた男性の早死に説もデマに等しいもので、彼らは同年齢の世界の人類の中で最も死亡率が低いのである。

こうしたすばらしい成果が、半世紀近い間の、日本人の食生活の変化に起因することは明らかである。もちろん部分的には多くの問題点が存在するし、改善や微調整が必要であるのは言うまでもない。

中年以下の日本人の食生活は世界中で最も健康的であるが、若い時代を日本人総粗食時代に過ごした老人たちは、取り残された集団である。多くの農村住民もまた古い食生活のなかに漬かっており、都市住民や子どもの一部には若干の行きすぎを見られる。

しかしなんといっても問題なのは、食事や食生活についてなんの根拠もなんの科学的裏づけもなく、また長寿者や老人の長期的観察もなく老人自体の調査もなしに、老化のメカニズムさえ無視した珍説奇説が横行していることである。アルカリ食品健康説や粗食長寿説、一部の自然食・健康食品説、さらには〇〇式肥満解消法、などがこのたぐいである。

動物性たんぱく質摂取量の少ない国は例外なく短命国であること、穀物中心で粗食の代表でもあった戦前の日本が短命であったこと、動物性食品の多い北欧や大洋州諸国が古くからの代表的長寿国であること、を見ただけでも、これらの珍説奇説の誤りは明らかである。

私は、全日本の百歳老人の心身と食生活を直接調査し、万を超える中高齢者の追跡調査を実施しているなかで、老人にとって最大の悲劇であり、家族や社会、自治体や国の負担になっているボケと寝たきりを少しでも減らすために、この本を出すに至った。

八十歳で食道がんを全摘するその日まで医師として現役であり、今八十二歳を目前にして以前にもまして元気に老後を生き抜いている父に、さらには八十歳代後半や九十歳代をたくましく前進している多くの私の患者の皆さんに、この書を捧げる。

### ボケは人間の尊厳を崩壊させる

**■ある大学教授の悲惨**

ボケは、知能や教養にも関係なく襲ってくる。私の知っているケースのなかには、某有名女子大学の教授だった人さえいる。専門は英文学だった。ダンディで、女子学生たちのあこがれの対象であったという。その教授がボケに襲われた。服装は乱れっぱなし、失禁はする、自分自身の糞便をこねくり回してもてあそぶ…。脳が壊滅的な打撃を受けてしまったのである。ときどき、正気に戻ったと思われるような瞬間がある。英語の詩や歌などを口ずさんだりして、大学教授時代の姿を彷彿とさせるのが、いっそう悲惨を感じさせるのである。

ボケは、本人の悲惨にとどまらない。家族は瞬時も目が離せず、疲労困憊させられる。三年も五年もつづくうちには、家族の神経が参ってしまう。治療しても、回復する期待がもてないのだから救いようがないのである。こうした患者を受け入れてくれる施設が、また絶望的に不足している。老人人口が増加するに従って、どこの家庭でもボケの悲惨さは他人事ではなくなってくるのだ。

ボケてしまってからではほとんど絶望的なのであるから、対策としては予防しかない。幸いなことに、日本人のボケはアメリカ型のそれと異なって、原因がはっきりしている場合が多い。対策が立てやすいという点が救いなのである。

〝不運〟を覚悟して待つことなく、積極的に予防策を講じていただきたい。難しいことではないのだから。

**■先生、ボケにだけはしないでください！**

年をとればとるほど、ボケへの恐怖は身近なものとなるらしい。私が勤務する東京都老人総合研究所は、同じ敷地内に老人病院と老人ホームがあるのだが、そこの老人たちは、悲痛な声で訴える。

「先生、なんとかボケにだけはしないでください。あれにだけはなりたくない！」

このように言えるうちはまだボケていない証拠だが、老人にとって、ボケがいかに切実な問題かがわかるだろう。ボケとは、どんな状態を指すのか、何が原因なのか、が正しくわかれば、病床の老人を漠然とした恐怖に陥れることもないはずである。老いた親をかかえた中年世代にとっても、対策が立てられようというものだ。

既に述べたように、ボケは、特に日本人のボケは、原因と理由がはっきりしているケースが多い。つまり、天災か事故のように、突然ふりかかる性質のものではないのである。そのへんをまず頭に入れておいていただきたい。

**■想像を絶する、ボケの諸症状**

正しくは、老人性痴呆という。脳には、言語や記憶、判断力、理性、といった精神機能をつかさどる領域がある。人間らしさの要といってもいい部分だろう。何かの疾患で、この領域に損傷を受けたとき、痴呆症状が表れる。

自分がだれなのか、どこに住んで、どんな生活をしているのか、といった基本的なこともわからなくなる。専門的には「見当識の喪失」といい、ボケか正常かを判断するときの重要なチェックポイントとなっている。家族の顔が一時的にせよわからなくなる、家を出たら帰る道順が混乱する。深夜あちこちを徘徊する、名前を聞いても答えられない…こういった症状が典型的である。あるいは食事をして五分もたつと、食べたことを忘れて「あなかがすいた」と言い出したり、財布をしまったこと自体を忘れて、「盗まれた」と騒ぐこともある。「だれかが襲ってくる」など、妄想を伴うケースもある。ひどい場合は失禁をしたり、自分の便をこね回したり、食べてしまったりする。ボケもここまできたら悲惨である。

特に、肉体的にはまったく異常がなく、重度のボケで目が離せないともなると、家族の苦労たるや大変なものである。普通の病院や老人ホームでは、なかなか受け入れてくれない。ボケ老人の専門施設に入れればいいが、全国には、まだまだ数が少ない。残念ながら、ボケ老人の多くは、家族の犠牲のうえに命をながらえているのが、現状である。

### 日本型のボケは八割まで原因がわかっている

日本におけるボケの原因は、二〇%がアルツハイマー型の老人性痴呆、六〇~七〇%が脳卒中による痴呆、残る一〇%がその他の原因による。私が、食べ物と食べ方に気をつければ予防できると主張するのは脳卒中型で、日本のボケ老人は、幸いなことにほとんどがこのタイプである。それぞれの原因を説明しておこう。

**■アルツハイマー型痴呆**

アルツハイマー型とは、脳細胞が急激に、広範囲に破壊される病気（冒頭にあげた大学教授の例はこのタイプであった）で、原因はまだ解明されていない。したがって、予防法も治療法もわかっていない。現在では、この二〇%に入ってしまったら不運としか言いようがない。老人ばかりか、四十歳くらいで発症することもあり、若い頃の知能や職業にもまったく関係がないとされている。ちなみにアメリカでは、アルツハイマー型が六〇~七〇%を占めている。脳卒中が二〇%、その他一〇%と、日本とちょうど逆の構成になっているのが特徴だ。

**■脳卒中型痴呆**

脳卒中は、次の三つの症状に分けられる。

**脳出血**…脳内を走っている血管が切れて、血液が脳を侵す疾患をいう。トイレやお風呂で突然倒れて意識を失うというケースが多く、田中角栄元首相の場合がそれである。別名、脳軟化ともいう。

**蜘蛛膜下出血**…脳を包んでいる蜘蛛膜という膜の下に、血液が流れ出した状態をいう。脳の血管の弱いところが風船のようにふくらんで破裂するためで、先天性と後天性がある。後天性では、動脈硬化によるものが多い。手術で治るセースもあるが、命をとられる場合のほうが多い。生き残っても、ボケ症状を呈することがある。俳優の天知茂氏もこの病気で亡くなった。

蜘蛛膜下出血は別として、脳出血と脳梗塞のほとんどは、食事が原因と考えてよい。食塩のとりすぎから生じる高血圧と、動物性たんぱく質の不足によるボロボロ血管が、発症の引き金となっているのだ。

正しい食生活による健康管理をしていれば、これらの原因によるボケや寝たきりは、大半は防げるのである。

**脳梗塞**…血液の固まり、血栓が脳の血管に付着すると、血液の流れがさえぎられて、周囲の脳に酸素が供給されなくなる。そのために脳細胞が侵されてしまう疾患である。本人も周囲もあまり気づかない程度の発作を何回か繰り返しているうちに、大きな発作に見舞われるというケースが多く、田中角栄元首相の場合がそれである。別名、脳軟化ともいう。

（次号に続く）

# 十二月行事

## —中央公民館—

1日(月) 英語教室(毎週(月))
2日(火) 民謡教室(毎週(火))
3日(水) 子ども文庫（毎週(水)）
4日(木) 英語教室・英会話講座・青年教室（毎週(木)）
5日(金) 舞踊教室・ヨーガ教室（毎週(木)）明日の親学級
6日(土) マナー教室
7日(日) 婦人学級村外研修（会津若松市博物館見学）
10日(水) 三村合同文芸のつどい（会場東村公民館）
13日(土) 青年会青年教室合同ダンスパーティ
鳥峠少年教室
16日(火) 移動図書館おおぞら号 ら号東地区巡回
17日(水) 書道会例会・婦人学級料理教室
20日(土) ゆずりは学級
21日(日) ペンクラブ例会・青年教室ボランティア活動
23日(火) おおぞら号西地区巡回
26日(金) 高砂学級
27日(土) 婦人学級（生花）
昭和六十一年御用納め
28日(日)～31日(水)まで 年末休館

## —保育所—

3日(水)・17日(水) おべんとうの日
16日(火) 避難訓練
18日(木) クリスマス会予行練習
21日(日) クリスマス会
24日(水)～26日(金) 身体測定

## —幼稚園—

3日(水)～5日(金) 身体測定
6日(土) 園内美化の日
10日(水) 良い子の発表会保護者会
16日(火) 研究保育（木村比佐恵教諭）

16日(火) 研究保育（木村比佐恵教諭）
18日(木) クリスマス会
20日(土) 第二学期終業式
21日(日)～1月15日(木) 冬季休業

## —泉崎一小—

1日(月) 避難訓練
4日(木) 委員会活動（奉仕活動）
13日(土) 愛校の日
16日(火) 授業参観日 方部児童会
20日(土) 第二学期終業式
21日(日) 冬期休業日

## —泉崎二小

4日(木) 授業参観
13日(土) 方部子ども会
20日(土) 終業式・大掃除

## —中学校—

1日(月)・2日(火) 期末テスト
12日(金) 生徒会立会演説会
13日(土) 生徒会役員選挙
17日(木) 第二回保護者会
19日(金) 生徒会総会
20日(土) 第二学期終業式

# おいわい おめでた おくやみ

**□結婚おめでとうございます。**

新郎・新婦　住所
塩田　浩　泉崎字柱内裏
裕子　山十一番地
齋藤　吉勝　北平山字高堀
みどり下九十三番地
遠藤　隆夫　泉崎字愛宕山
富士子四十番地

**□出産おめでとうございます。**

お子様名　父名
泉崎字下宿五十四番地の三
箭内　紀史　三紀夫
関和久字瀬知房後四番地
鈴木　智介　直美
泉崎字下宿五番地
小山田紗織　雅直
泉崎字長峯一番地
大野　孝海　厚海
関和久字上町五十八番地
緑河　慶太　勝哉
泉崎字新宿十八番地二
有賀　智香　克彦

**■謹しんでお悔み申し上げます。**

泉崎字休場山四十八番地の二
本柳　進喜　七十八才
関和久字漆久保四十九番地の三
田崎　勝榮　四十四才
北平山字新田八番地
三本木一夫　六十才
泉崎字狐山二番地
西巻　三男　六十一才
関和久字上町三十八番地
田崎　次男　七十七才